

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

令和2年6月9日

計画の名称	1 安定した暮らしを支える供給処理システムの充実（その2）（防災・安全）		
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）	交付対象	大阪府 阪南市
計画の目標			

阪南市公共下水道施設の老朽化に伴い、日常生活や社会活動に重大な影響を及ぼす事故発生や機能停止を未然に防止するため、限られた財源の中でライフサイクルコスト最小化の観点から踏まえ下水道施設の計画的な改築を推進する。また、雨水の貯留による再利用の促進を図るとともに、雨水流出を抑制し都市の市街化により失われつつある保水・排水能力の強化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

1. 下水道管渠の長寿命化計画に基づき、長寿命化対策達成率を0%から100%に増加させる。
2. 新世代下水道支援事業計画に基づき、雨水貯留タンクを140基設置させる。
3. グリラ豪雨による対策として、既設水路等を活用した事業計画の検討のため流出解析シミュレーションを行い40haを整備する。
4. 下水道事業において、施設の継続的な運転、リスクの低減かつ経済的な改築計画を策定する。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値 (H27当初)	中間目標値 H29末	最終目標値 (H31末)	
下水道長寿命化計画整備率 長寿命化計画施工済延長 (km)/長寿命化計画必要延長 (1.3km)	0.0%	50.0%	100.0%	
	(実績) 0.0%	51.7%	98.9%	
雨水貯留タンク整備率 貯留タンク設置基数/140基	0.0%	60.0%	100.0%	
	(実績) 0.0%	47.9%	61.4%	
男里川排水区雨水対策事業 対策済み面積 (ha)/男里川排水区面積 (40ha)	0.0%	100.0%	100.0%	
	(実績) 0.0%	0.0%	7.3%	
下水道ストックマネジメント実施計画策定 ストックマネジメント計画策定813ha (汚水543.6ha、雨水269.4ha)	0.0%	0.0%	100.0%	
	(実績) 0.0%	0.0%	100.0%	

全体事業費 (上段：計画) (下段：実績)	合計 (A+B+C)	(107百万円) 106百万円	A	107百万円 (106百万円)	B	—	C	—	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%
-----------------------------	---------------	--------------------	---	--------------------	---	---	---	---	---------------------------	------

事後評価

○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期	
事後評価（中間評価）の実施体制	事後評価（中間評価）の実施時期 令和2年7月
公表の方法 本市ホームページにて事後評価書(案)を掲載し、透明性、客観性、公正さを確保し評価した。	
本市ホームページ	

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
A07-001	下水道	一般	阪南市	直接	阪南市	管渠(汚水)	湾岸南部処理区 汚水管渠長寿命化対策実施	汚水管 φ250～200mm L=1.3km	阪南市						89	
A07-002	下水道	一般	阪南市	間接	個人	—	雨水貯留タンク設置促進事業	雨水貯留タンク設置促進 140基	阪南市						3	
A07-003	下水道	一般	阪南市	直接	阪南市	—	男里川排水区雨水対策事業	流出解析シミュレーション、実施設計、対策工事	阪南市						5	
A07-004	下水道	一般	阪南市	直接	阪南市	—	下水道ストックマネジメント計画策定	マンホールポンプ8基、管路施設813ha	阪南市						9	
合計(下水道事業)											106					

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接/間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H27	H28	H29	H30	H31		
合計																

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		1. 老朽化した下水道施設について、最優先となる区域の長寿命化計画を策定したことにより、約1.3kmを整備することができ、目標が達成された。 2. 広報や市ホームページ等により市民周知を行い、雨水タンク設置促進(助成金)を実施したことで、当初の目標基数までの設置には及ばなかったが一定の成果が出た。 3. 対策事業費が膨大な額となるため、流出解析シミュレーションのみの実施となり、今後は対策工事が必要となる。 4. 下水道施設について、ストックマネジメント計画を策定することができ、目標が達成された。			
II 定量的指標の達成状況	指標① 下水道長寿命化計画整備率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成できた。
		最終実績値	98.9%		
	指標② 雨水貯留タンク整備率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	広報等で周知を行ったが、目標値までの申込み件数には及ばなかった。
		最終実績値	61.4%		
	③指標 男里川排水区雨水対策事業整備率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	長年にわたり懸案事項の箇所について、整備したことで一定の成果が出た。
		最終実績値	7.3%		
	④指標 下水道ストックマネジメント実施計画策定率	最終目標値	100.0%	目標値と実績値に差が出た要因	目標値を達成できた。
		最終実績値	100.0%		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)					

3. 特記事項 (今後の方針等)					
スtockマネジメント計画に伴う管路調査及び改築更新計画を策定し、下水道施設の延命化対策及び持続的な管理運営を図る。					